

3月2日は 岩淵かっぱ広場リニューアル記念・能登半島地震復興応援

防災オープンDAY

いわぶちまち防災オープンDAY

～岩淵かっぱ広場リニューアル記念・能登半島地震復興応援～

令和6年3月2日(土)
11:00～16:00
※雨天時は3月9日(土)に順延

ミニマルシェ

起震車体験

防災ワークショップ

【会場】岩淵かっぱ広場
& 八雲神社

会場へは徒歩でお越しください

災害に備えて親子で“楽しく”防災知識や岩淵町を知ろう！

主催：岩淵町まちづくり協議会
協力：岩淵町自治会、赤羽警察署、赤羽消防署、北区
問い合わせ先：北区防災まちづくり担当課 担当：大谷、丸山、高杉
TEL 03-3908-9162 E-MAIL bomachi-ka@city.kita.lg.jp

イベント当日の
開催確認は
QRコードから

会場は八雲神社・かっぱ広場

3月2日(土) 午前11時より午後4時まで、八雲神社と岩淵かっぱ広場を会場に、「いわぶちまち防災オープンDAY」(岩淵町まちづくり協議会主催)が開かれます。

まちづくり協議会の設立から約2年、この日には、リニューアルされるかっぱ広場がお披露目となり、午前10時からオープニングセレモニーが開催されます。

会場では、キッチンカーで食事などを楽しめるミニマルシェや起震車体験、防災ワークショップのほか、岩淵町内の防災拠点をめぐるスタンプラリー(小学生以下先着350名に防災グッズをプレゼント)も実施します。ぜひ、親子連れでご参加下さい。

参加無料。雨天時は3月9日(土)に順延となります。(のの山けん)

自民党政治を終わらせよう

赤羽東口
街頭演説

23日、赤羽駅東口で日本共産党街頭演説を開催。吉良よし子参院議員、田原聖子東京12区国民運動部長、そねはじめ都議が「裏金づくりに国民の怒りは沸騰。自民党政治を終わらせましょう」と訴えました。(のの山けん)



納税者の半分程度、中小業者に直接届く

物価高騰対策給付金を

代表質問 せいの 恵子 議員



現在も深刻な物価高騰が区民生活や中小業者の経営を脅かす中で、今年度末の北区主要基金の残高は、昨年度から横ばいの約747億円となる見込みです。

余力あるなら 暮らし応援を

中でも、使いみちが定められていない財政調整基金は、198億円に達し、新年度に約72億円を取り崩しても、年度末には約145億円が残る予算案となっています。

これだけの余力があるなら、暮らしや営業へのさらなる支援の強化に活用してほしいというのが、区民の切実な願いではないでしょうか。

この間、非課税世帯や低所得・子育て世帯などへの支援は拡充されてきた一方で、中間所得層や18歳以下の子どもがいない世帯、中小業者などへの支援はいまだ不十分な水準にとどまっています。

中間所得層に 重点支援を

日本共産党は、今年度の予算組み替え提案で、課税標準額200万円以下の区民に3万円を給付する物価高騰対策臨時給付金を求めました。こうした層への重点的な支援は、今も道理のあるものです。中小業者への直接支援とあわせ、新年度での実施を求めるものです。

安心して住み続けられる北区へ

住宅政策の拡充を

個人質問 ながい ともこ 議員



住宅マスタープランの改定を機に、住宅政策の拡充をはかるよう求めます。

専用住宅を 政策の柱に

低所得者、被災者、高齢者、障害者、ひとり親を含む子育て世帯など、住宅確保要配慮者へ月額4万円の家賃補助つき住宅を提供するセーフティネット住宅家賃低廉化補助事業が、今年度開始となりました。23区の中でも先駆的な事業です。セーフティネット専用住宅を住宅政策の柱にし、民間、UR、公社住宅など、それぞれの数値目標を設定し、戸数増を積極的にはかるよう要望します。

あわせて、北区を支援地域とする居住支援法人を設立するなど、居住支援の仕組みをつくることを求めます。

家賃補助制度 の創設を

都営住宅や区営シルバーピアに繰り返し申し込んでいる人がいます。本来なら、公的住宅への入居で家賃軽減をはかるべきですが、圧倒的に戸数が少なく、何回も応募しても入居できない人がたくさんいます。また、若年単身者は公営住宅の入居条件に当てはまりません。民間賃貸住宅への新たな家賃補助制度を区として創設することを求めます。